

# 令和6年度自己評価結果報告書

学校法人川江学園  
お宮の里幼稚園

## 1. 本園の教育目標

「心豊かでがんばる子ども」の姿を目指して、子どもの好奇心や探究心を引き出す環境を整え、遊びを通して様々な学びや体験ができるよう援助していくことで子ども達の人間形成の基礎を培い、心身の発達を助長する。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は職員の入れ替わりが多かったため、本園の教育理念、教育方針の理解の定着を図るために職員間による話し合いを進め、教育方針に基づいた保育を計画できるよう取組指標、成果指標を設定した。

## 3. 評価項目の取組と成果

重点的に取り組む目標	評価項目	評価指標 及び 評価結果						自己評価結果	
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成果	総括評価	取り組み結果・成果などに関する教職員の主な意見
教育方針に基づいた保育計画の策定	好奇心を育む環境構成	4	子どもと一緒につくる環境構成	3.3	4	子どもと話し合う場を作り、子どもの興味関心のある環境を一緒に作るようになった	3	B	学年や時期(学期)によって子どもと一緒に環境を作る難しさもあり、達成できなかった部分がある
		3	子どもの興味関心のあることを掲示したり、コーナー作りをするなどの環境構成		3	一緒に掲示物を見て言葉をかけることで子どもの好奇心や意欲が高まる姿がみられるようになった			
		2	子どもが好奇心を持って探究できるコーナーを準備する		2	子どもが現時点で好奇心がわいてくる材料や見本を準備できるようにになった			
		1	同学年担任と環境構成について話し合いをする		1	子どもの興味関心の高いコーナーの充実とそうでないコーナーを再構成することで一つのコーナーに集中することが少なくなった			
	子どもの興味関心の読み取り	4	保育者のかかわりによる遊びの広がり	3.1	4	子どもが主体的に遊びを広げられるためのかかわりや言葉かけができるようになった	3	B	子どもの興味関心が定まらず、遊びこむまで至らないことが多くあった。言葉かけや環境作りについて研究する必要がある
		3	これまでの経験(学び)を踏まえた子どもの姿と興味関心の移り変わりを整理する		3	子どもの遊びを経時的に説明することができるようになった			
		2	子どものつぶやきや行動から興味関心を把握する		2	遊びの中で子どものより深い興味関心に目を向けて、言葉をかけられるようになった			
		1	子どもの遊びの中に入って一緒に遊ぶ		1	子どもが主体的に進めることを大事にしながら一緒に遊んでいる			
	子どもの興味関心を踏まえた保育計画	4	保育を実践した結果を同僚と話し合いながら検証する	3.4	4	同僚との話し合いで、遊びの広がりについて視野を広げて考えるようになり、それを保育計画に活かせるようになった	3.0	B	同僚との話し合いを進めていくものの保育計画まで活かしていくことができなかったため、計画することを踏まえた話し合いにしていこう心掛けた
		3	子どもの興味関心を一斉保育へ展開していく		3	子どもの興味関心と学びを結び付けた保育を考えるようになった			
		2	子どもの姿を踏まえた遊びの広がりについて同僚と話し合いをする		2	子どものつぶやき、行動等について同僚と共有するようになった			
		1	遊びの広がりや保育計画について園内研修を行う		1	遊びの深化や広げ方についての話し合いを繰り返すことで子どもの姿に対する観察眼が養われてきた			

## 4. 総合的な評価結果

・職員一人ひとりのレベルアップを目的に昨年と同様に教育方針に基づいた保育計画の策定を重点目標に設定した。全教職員間において教育方針を確認し、保育や計画の策定を繰り返し振り返ることで、意識面では浸透してきていることが感じられた。そのため、全体評価はBとなったものの、各項目における平均点数はどの項目についても昨年度を上回る結果となった。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	取り組み方法
1	保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針の更なる理解を深めるために職員間による話し合いの継続</li> <li>・外部講師を招いての勉強会の開催</li> <li>・子どもの興味関心の読み取りに基づく環境作りと保育計画の策定</li> </ul>
2	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の設備、遊具等についての安全チェック項目の整理</li> <li>・ヒヤリハット情報の迅速な共有化</li> <li>・子どもの危険察知力の向上</li> </ul>